

令和5年8月28日

横浜市立東希望が丘小学校 学校だより



東希小だより 9月号

「咲こう 輝こう マーガレットのように」

他者とのかかわりで生まれる感情

校長 井島 恵子

長い夏休みを経て、ひとまわり大きく成長した子どもたちの声で、今日からまた学校には活気が戻ってきました。今年の夏は猛暑日の日数が過去最高となり、台風がいくつも発生して、天候に振り回されることが多くありました。夏休み前には、気温が高すぎて水泳学習が中止になったり、校庭で遊べなかったりするなど、数年前には考えもしなかったようなことがあった一方で、新型コロナウイルス感染症が第5類となってコロナ禍前の夏に戻り、夏休みの間に地域の夏祭りや遠方への旅行などにお出かけされた方も多かったことと思います。久しぶりの「規制のない夏」を楽しめたでしょうか。

7月30日に本校校庭で行われた4年ぶりの希望が丘東地区連合自治会の夏祭りでは、本校3・4年生がソーラン節を踊る機会をいただきました。事前の募集で約40名の児童が参加を希望して、当日はさらにその場で多くの子どもたちが踊りの輪に加わりました。また8月1日には、ジュニアボランティアの就任式が行われました。今後は、地域の民生児童委員の方々と共に、赤い羽根共同募金やひとり暮らし高齢者とのふれあい等、福祉に関する活動が続いていきます。どちらも地域の中で子どもたちが活躍する機会となり、やりたいという気持ちがあれば誰でも参加できる活動です。この経験は「東希望が丘のまちのために自分にもできることがある」という自信や自己有用感を子どもたちに与えていただけた素晴らしい経験となりました。

自己有用感の高まりには、他者の存在が不可欠です。人の役に立った、人に喜んでもらえた、人から認められたなど、他者からの評価によって自分と他者との関係を肯定的に受け入れることで自己有用感は生まれ、高まっていきます。自己に対する肯定的な感情、自尊感情を、東希小の全ての子どもたちが高めていけるような教育活動をこれからも進めていきたいと考えています。地域の皆様や保護者の皆様のご支援・ご協力に感謝申し上げますとともに、これからもお力添えをよろしくお願いいたします。



4年生の花壇では
ゴーヤの黄色い花が
たくさん咲きました



1年生の花壇もお花でいっぱいです

東希きょうどう隊の皆様には
夏休み中のウサギのお世話、植物への水やりにご協力いただきました。
どうもありがとうございました。

ありがとう

